

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	工業外国語
科目基礎情報					
科目番号	0077		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	担当教員が必要に応じてプリントを配布するか、テキストを定める				
担当教員	村田 充利, 謝 孟春, 山吹 巧一, 岡本 和也, 竹下 慎二, 直井 弘之, 森 徹, 岩崎 宣生, 岡部 弘佑				
到達目標					
(1) テーマに関する英語文献、英語論文を調査し、概要をまとめることができる。 (2) テーマに関する英語文献、英語論文について討論できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
英語文献の内容発表	文献を理解し、正しい文法で概要をまとめることができる		英語文献を理解し、纏めることができる		英語文献の理解、纏めることができない
英語文献の報告書	英語文献を理解した上で報告書の作成ができる		英語文献の一部を理解し、報告書が作成できる		英語文献の一部の理解、報告書が作成できない
学科の到達目標項目との関係					
D					
教育方法等					
概要	電気・電子・情報の知見を発展的に応用する電気情報工学に関する英語文献、英語論文をゼミ形式で学習する。				
授業の進め方・方法	各研究室ごとにゼミの形式で実施すること				
注意点	事前学習：英語文献や論文の予定範囲を読み、意味が分からない言葉を調べる。事後学習：ゼミで学習した文献・論文をまとめ、理解を確認すること				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		2週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		3週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		4週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		5週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		6週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		7週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		8週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
	4thQ	9週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		10週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		11週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		12週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		13週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		14週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		15週	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表等	電気情報工学に関する英語文献・論文についての調査、討論、発表ができる	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	スキル		報告資料	合計	
総合評価割合	50		50	100	
配点	50		50	100	